

令和5年度 厚生労働省委託事業
在宅医療関連調査・講師人材養成事業

「在宅医療におけるICTの活用」

北海道名寄市健康福祉部

こども・高齢者支援室地域包括支援センター

所長 橋本 いづみ

(保健師、主任介護支援専門員)

本日のメニュー

- 1 名寄市医療介護連携 ICTの概要
- 2 ICT活用によるメリットと名寄市の好事例
- 3 ICT利用に際しデメリットとその克服方法
- 4 ICTの持続的利用に関する要諦
(肝心なポイント)

1 名寄市医療介護連携ICTの概要

名寄市の特徴

人口 25,534人 (令和5年8月末)
高齢者人口と割合 8,628人(33.79%)

主要産業

農業(アスパラ、じゃがいも、もち米等)

市の自慢

きたすばる天文台

市立大学、市立総合病院 など

地域包括支援センター 市直営 1か所

日常生活圏域 1



1 名寄市医療介護連携ICTの概要

名寄市医療介護連携ICT事業（令和3年7月 本格運用開始）

実施主体：名寄市

事務局：市地域包括支援センター

事業内容：

ネットワークを構築するのは2つのシステム

①ID-Link ②Team

参加施設数 合計58機関（介護等43、医療17）

Team登録者数 累計約1,517人（令和5年10月24日現在）

1 名寄市医療介護連携ICTの概要

平成27年度～

- 在宅医療介護連携推進事業開始に伴うケアマネ等へアンケート
- 医療介護の多職種が参加するワークショップ
- 地域包括ケアシステム構築WGでのディスカッション 等



ヒアリングやアンケート、WSでの意見や意向

〈介護側〉

医療に対する「敷居の高さ」感や医療に対する知識不足
正しい医療情報を知りたい、必要な医療情報
退院の時期や利用者の状況を早い段階で連絡がほしい

〈市立病院看護師等側〉

患者のフェースシート、ケアプラン、家族の介護力を知りたい

〈行政・包括〉

平成30年9月 胆振東部地震発生、全道的ブラックアウト
新規相談での内服薬確認・・・薬が「わからない」

2013～ 2020にシステム更新



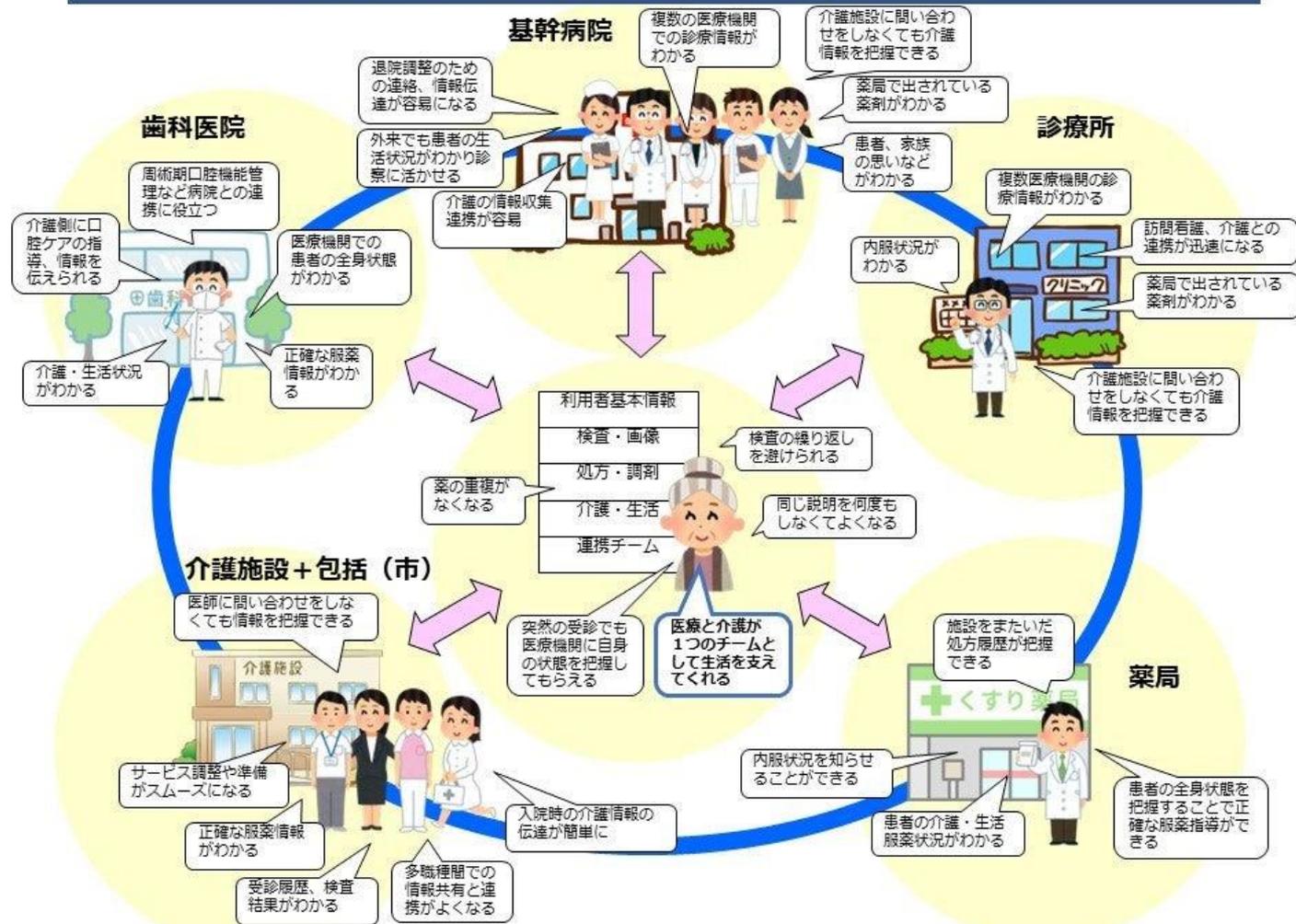
2013～ 2020にシステム更新



共有できる情報	ID Link	Team	経過観察・申し送り事項
事務局 地域包括支援C 介護保険係 高齢福祉係		住民基本情報 介護認定情報 主治医意見書 緊急連絡先 担当ケアマネ、事業所名 利用介護サービス	
市立病院	処方、注射、検体検査、画像 文書（入院治療内容）*	処方、検体検査	
公開施設	処方、検体検査 文書（手動でUP）	処方、検体検査	
調剤薬局	調剤	調剤	
居宅介護支援(事)		フェイスシート ケアプラン、アセスメント	
介護サービス		訪問看護報告書、 介護サービス計画書など	

*退院サマリ、看護サマリ、地域連携カンファレンス報告書、退院調整報告書、ADL表、リハビリ、栄養指導、救急外来経過表、入院診療計画書、病名病歴、アレルギー、など

名寄市医療介護連携ネットワークで実現したいこと



2 ICT活用によるメリットと名寄市の好事例

メリット

〈介護側〉

- ☆居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）
- ☆訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション
- ☆訪問介護（ホームヘルパー）・通所介護（デイサービス）など

〈市立病院看護師等側〉

- ☆外来看護師・病棟看護師・認定看護師・連携室MSW など

〈調剤薬局（訪問薬剤管理指導）〉

- ☆薬剤師

〈歯科医院（訪問歯科診療）〉

- ☆歯科医師・歯科衛生士

〈行政・包括〉

- ☆地域包括支援センター・介護保険係
基幹相談センター・保健センター

2 ICT活用によるメリットと名寄市の好事例

業務の効率化

時間を気にせず、連携ができる

電話の回数、時間が短縮。FAXが減った。

いろんなミスが減った

など

2 ICT活用によるメリットと名寄市の好事例

〈好事例 1〉

誤嚥性肺炎をくり返していた利用者（患者）
訪問リハビリテーション、デイサービス、地域包括支援センター
病院MSW

- ☆お互いに事業所でできることが理解できる
- ☆誤嚥性肺炎による入院までの期間が延びた

〈好事例 2〉

終末期に帰宅できた利用者（患者）
ケアマネジャー、訪問看護、福祉用具レンタル、訪問薬剤師
病院連携室看護師、医師

- ☆最期を病院で迎えたい
- ☆孫に会いたいという願いが叶った

3 ICT利用に際しデメリットとその克服方法

デメリット

- ①経費
- ②事務局
- ③参加

克服方法

市が事務局に

4 ICTの持続的利用に関する要諦（肝心なポイント）

①ICTを使用するだろう人達の意見や意向を聞く

平成27年度～医療、ケアマネジャー等介護事業所へのアンケート、ワークショップ
名寄市地域包括ケアシステム構築を考えるワーキンググループ

②外部人材を登用

令和2年～IT専門職員採用

ファシリテーター専門家委託契約 ⇒ WSや研修会、MTGの進行等

③ICTを利用する者が「どのように使うか」を考える

行政が主導だが、ICTの使い方は関係機関が考える：WS

 医療介護連携の質向上、事業所毎で業務の立て方の効率化 等

4 ICTの持続的利用に関する要諦



4 ICTの持続的利用に関する要諦



第4回 地域連携会議 in名寄



2023

2/10 (金)
17:15 - 18:45

介護サービス再確認！
&
「今さら聞けない・・・
介護のこれ何？」

第2・3回では、具体的なケースをピックアップし、関係した多職種の方が集まり、より良い連携のあり方の探究やICTの活用グッドケースの共有を行いました。
今回は、知っているようでよく分かっていなかった「介護サービスの基本」から、「名寄での介護サービスの実情：実際に誰がどのような気持ちでどのようなことをしているのか等」をみんなで一緒に垣間見ていきたいと思います。

対象 名寄市内医療・介護に従事する方
(特に在宅、看取り、緩和ケア、慢性疾患の疾病管理、高齢夫婦：独居の方へのケア、継続看護等に関心のある方)

日時 2023年2月10日 (金) 17:15～18:45 (受付16:45～)

会場 名寄市立総合病院新館3階 体育館

内容 第1部「名寄の介護サービス」再確認！
・名寄社協指定居宅介護支援事業所 井上正義氏(ケアマネジャー)
・居宅介護支援事業所SUN 江口英樹氏(ケアマネジャー)
・名寄調剤 副薬局長 町田忠相氏 (在宅療養支援認定薬剤師)

第2部ミニ・パネルディスカッション
「今さら聞けない、介護のこれって何？」

全体ファンリテーター：地域包括ケア研究所 大曾根衛氏

※内容・タイトルについては変更になることがあります。
※新型コロナウイルス感染症状況によって開催方法が変更になることがあります。
※連携促進のためグループでの話し合いなども行う予定です。十分な感染対策をおこなった上で実施いたします。

【問い合わせ・連絡先】

名寄市地域包括支援センター 橋本

TEL 01654-3-2111 (内線3260)

(名寄市立総合病院内は患者総合支援センター高橋課長へ)

主催：名寄市 共催：名寄市立総合病院・(社)地域包括ケア研究所



名寄市の医療介護連携ICTの取り組みがnote記事になりました。
導入の背景や経緯、導入後の様子や効果など、さまざまな関係者の方へのインタビュー形式で読みやすくなっています。
現在、シーズン1 (3話) & シーズン2 (7話) に加え、シーズン3がアップされています。ぜひお読みください！

名寄市あったかICT物語

